



新築注文住宅完成

昨年後半に着工した、新築住宅が相次いで竣工し引渡しが終わりました。Y邸もT邸も木の香りが心地よいと大変ご満足いただきました。

作りつけTVボードや壁の厚みを利用して造った書棚、階段横のデッドスペースにクローゼットを配置したり他にも収納スペースたっぷりの家に仕上がりました。

【結露】にお困りではありませんか？

寒さが厳しくなってくると、室内では困ったことがおきてきませんか？カーテンが濡れたり、押入れの布団がじめじめしたりして、『結露』のいたずらに悩んでいる方は多いと思います。結露はダニやカビを誘発し、健康を損なう原因にもなるので放っておかずに結露の発生のお風呂の鏡が曇ります。これらの現象は結露と同じしくみで起こっています。

結露の正体は、空気中の水蒸気

グラスに水滴が付くのと窓ガラスに発生する結露は同じしくみです。温かく湿った空気が冷たい物にふれると、空気中の水蒸気が水滴となって付着します。これが「結露」です。

冷たい飲み物の入ったグラスの表面には、細かい水滴が付きますね。また、入浴中にはお風呂の鏡が曇ります。これらの現象は結露と同じしくみで起こっています。

住宅の場合、結露には「内部結露」と「表面結露」があります。

内部結露 外壁の内部で生じる結露で、室内で生じた湿気が壁の中に侵入して見えないところで結露を発生させるもので、外壁や土台を傷める原因となります。これを防ぐためには、専門業者による工事（防湿気密フィルム、壁体内通気層の施工など）が必要です。

表面結露 室内の壁や窓に生じるもので、目で見て確認できます。室内のどこが「結露発生の危険箇所」となるのでしょうか？

- 窓ガラスの結露は、窓枠の傷みや床の水ジミの原因になります。
- 金属製の玄関ドアやアルミサッシなどは要注意です。
- 家具の裏側も、意外な危険箇所です。ソファなどはそれぞれ自体に断熱性があるので、裏側の空気は冷えている場合があります。
- 押入れの内部も気をつけたい場所です。布団が断熱材の役割となり、奥の壁が冷えて結露することがあります。

結露を追い出せ！結露対策

- ① 暖房器具の設定温度を上げすぎないように。また、家の中の温度差をなるべくくつくつしないようにします。室内ドアを定期的に開けて、部屋や廊下の温度差を減らすことが大事です。
- ② キッチンやお風呂など、水蒸気の発生しやすい場所では換気扇をまわして、湿気を外に逃がしましょう。また、洗濯物の室内干し、意外なところでは、観葉植物なども湿気発生源に湿度計がある場合、結露防止の目安は湿度70%以下です。
- ③ 家具は壁から数センチ離しておくこと。暖められた空気が、家具の裏側に回るので余裕を持たせると、結露の防止になります。また、外壁に面した壁は特に冷えやすく、結露しやすいので、できるだけ家具を置かないようにしましょう。
- ④ 押入れの中の空気の循環をよくするために、布団などをギュウギュウに詰め込まないようにしましょう。下にスノコをしくのも有効です。クローゼットもときどき扉を開けて、空気を循環させることが大事です。

家の健康と住み手の健康のために『結露』は、発見したら、放置せずすぐに水分を拭き取りましょう。そのままにしておくと、濡れた部分が傷んでしまいます。また、カビなども発生しやすくなります。